

専門教育科目  講義科目

科目名： <b>コーチング入門</b>		科目コード	EK80	
科目主査： <b>山中 悠輝</b>		担当講師： <b>山中 悠輝</b>	単位	2
			配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>本科目では、変化の激しい現代の組織において成果を生み続けるために不可欠な「人材育成」と「目標達成力」を高めるコーチングの理論と実践を学びます。組織やチームは、目標を達成できなければ競争力を失い、やがて衰退するでしょう。また、単に結果を出すことだけを求めても、メンバーの意欲が低下し能力開発が進まなければ成果は持続しません。そこで本科目では、メンバーが問題と向き合い、主体的に解決へ向かう力を引き出す支援方法としてコーチングを学習します。コーチングの考え方や基本スキルに加え、目標設定や進捗支援のプロセスを体系的に学び、メンバーの主体性を引き出しながら目標達成を実現するための関わり方を演習やケーススタディを通して理解します。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキスト（コーチングのスキル）を精読しましょう。テキストの内容でわからない点がありましたら、スクーリング時に質問できるようにして整理しておいてください			
テキスト	『コーチング入門』関 直治, 産業能率大学, 最新版			
この科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織やチームが成果を出し続けるために必要な人材育成の視点を理解できる</li> <li>②メンバーの意欲や能力を引き出す関わり方を説明することができる。</li> <li>③メンバーの目標達成や成長に向けた具体的な支援イメージを持つことができる</li> </ul>			
成績評価の方法	講義中の課題及び最終試験の得点に、講義中の取り組み姿勢（チャットの発言など）を加味して評価します。スクーリング全日の出席、課題の取り組み姿勢、最終試験の提出（未入力提出不可）をもって、採点対象とします。遅刻、居眠り、ワークへの参加への消極姿勢は減点対象とします。			
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の育成事例を収集すること</li> <li>・仕事や職場で本学習を踏まえ、コーチングを実践すること</li> </ul>			
事後学習の参考文献	<p>『新1分間リーダーシップ どんな部下にも通用する4つの方法』ケン・ブランチャード / パトリシア・ジガーミ / ドリア・ジガーミ, ダイヤモンド社, 2015年</p> <p>『職場が生きる 人が育つ 「経験学習」入門』松尾 睦, ダイヤモンド社, 2015年</p> <p>『フィードバック入門 部下が成果を出すための最も効果が高い育成の技術』中原 淳, PHP, 2025年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。				